

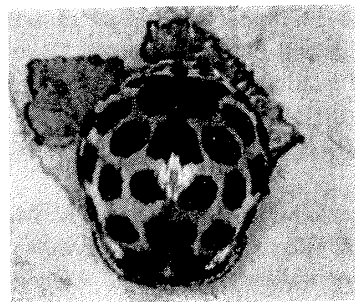
*Kontyû, Tokyo*, 44 (4): 570. December 25, 1976

秋田県で発見された本州未記録のコブオオニジュウ  
ヤホシテントウの1型

安富和男・新保友之

YASUTOMI, K., and T. SHINBO: An Unrecorded Form of the  
*Epilachna vigintioctomaculata* Complex from  
Akita Prefecture, Honshu

1976年8月23日と9月5日に、秋田県仙北郡田沢湖町戸瀬の玉川(雄物川支流)ぞいのナンブアザミ *Cirsium nipponicum* から多数採集されたコブオオニジュウヤホシは、北海道南部の大沼付近から東北地方にかけて分布する大沼型ではなくて、つぎの諸点からみて北海道北部の型に酷似しているので記録しておきたい。



1) 翅鞘末端の拡張や瘤状突起を有する(北海道の基本型に近い)ものがある。2) 前胸背や前肢脛節まで真黒な個体が見られる。3) 翅鞘末端部縫合線上の2紋(第11紋と14紋)が連結しているが、これは礼文島のコブに見られる特徴である。4) 幼虫・蛹の斑紋8形質の出現度を百分率で表わし、円形グラフを描く小山・滝沢(1974)の方法で検討した場合も、大沼型を除く北海道の諸型と完全に合致する。

引用文献

小山長雄・滝沢達夫, 1974. オオニジュウヤホシテントウ群の幼虫・蛹の斑紋. *New Entomologist*, 23 (2・3): 35-38.